

法学委員会 ジェンダー法分科会 (第24期・第2回)

議事録

1. 日時

平成30年6月11日(月)10時00分～12時00分

2. 場所

日本学術会議 6-A(2)会議室

3. 出席者

三成(委員長)、武田(幹事)、谷口(幹事)、浅倉、戒能、紙谷、糠塚、平山、廣瀬、広渡、吉田克己、建石(skype)

4. 議題

審議に先立ち、三成委員長より、定足数を満たしており、会議が成立していることが確認された。

(1) 前回議事録確認

前回議事録について異議なく承認された。

(2) 報告

内藤忍氏(労働政策研究・研修機構副主任研究員)を参考人として招聘し、ハラスメントに関する法整備の現状と課題、および、暴力・ハラスメントに関するILO条約・勧告案の審議過程・内容について報告を受けた。

報告の後、諸外国におけるハラスメントの法規制のあり方、セクシュアル・ハラスメントに関する日本の法政策の現状と課題、ILO条約・勧告の内容の詳細などに関する質疑および意見交換を行った。

(3) 今後の予定

セクシュアル・ハラスメントに関する公開シンポジウムの開催について審議し、平成30年9月3日(月)、日本学術会議講堂において開催することが決定した。パネリストおよびコメントーターの候補者を選定し、開催申請手続きに入ることが了承された。あわせて、シンポジウムの内容にもとづいて、今年度中に提言書を作成・公表することも了承された。また、三成委員長より、次年度は女性差別撤廃条約のフォローアップ手続きを中心に審議を進める方向性であることの報告があった。

(以上)